

食道の手術を受けられる方へ

入院診療計画書

作成日:

ID		患者様名		病名	☐ 食道癌	☐	特別な栄養管理の必要性	☒ 無	☐ 有	★退院指導★									
看護師		薬剤師		栄養士	症状	☐ 特になし	☐	リハビリ計画	☐ 無		☒ 有	外来診察担当医							
理学療法士				手術日			時	総合的な機能評価	問題なし			()							
日付												外来診察日							
経過	入院日	手術前日	手術前	手術後	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目	術後5日目	術後6日目	術後7日目	術後8日目	術後9日目	術後10日目 ～17日目	術後18日目以降 (退院)	20 年 月 日 時 分			
目標	不安なく手術を受けることが出来る			痛みが最小限で安楽に過ごすことができる			術後早期離床できる			痛みのコントロールができれば棟内歩行ができる			経口からの摂取が開始できる 注入方法を理解し注入を行うことができる			食事の注意を理解して 経口摂取が進められる		検査内容 ()	
点滴	ありません		手術前の点滴 (有・無)		中心静脈カテーテルより 点滴が開始となります		24時間、持続点滴になります 食事や経管栄養に合わせて点滴が減量になります									食事が半量以上摂取できれば 点滴終了です			検査内容 ()
内服	抗凝固薬・糖尿病薬は 医師の指示にて中止となります 寝る前に下剤をお渡しします		() 時に指示のある 薬のみ少量の水で内服 (有・無)		ありません		医師の指示により 注入で内服薬が開始となります 指示があるまで服用しないで下さい			抗凝固薬や糖尿病薬等は 医師の指示にて再開となります			排便が3日以上ない場合や下痢が続く場合は 医師と相談し検討しますのでお知らせ下さい			予定日 20 年 月 日 時 分			
検査	採血があります		ありません		レントゲン・採血が毎日あります 医師の判断により造影検査があります			ありません		採血があります		採血が あります		レントゲン があります			ありません		
処置	ありません		ありません		心電図モニター・酸素 下肢に深部静脈血栓予防の 機械をつけます (経過をみながら外します)		胸と鼻に管が入ります 管からの排泄の性状・ 量の観察は毎日行います		傷のテープ を剥がします		レントゲンや採血の結果により 医師が胸の管を抜きます 心電図のモニターは5日目で除去します		毎日3回検温 傷の観察を します		シャワーで傷の洗浄を行います		日常生活を取り戻すため適度な運動、散歩などしましょう 体を動かすこと(離床)により腸閉塞やエコノミー症候群、傷の感染などの予防になります		
活動	制限はありません		手術までに 術衣へ着替え 血栓予防の 靴下を履きます 靴下は前日に渡します		ベッド上での安静ですが、 体勢の変更は可能です ご希望の際はナースコール でお知らせ下さい		リハビリが始まります 積極的に離床しましょう 最初は看護師が 付き添って歩行します		午前									・日常生活上、特に制限 はありません ・食事はゆっくり よく飲んで食べましょう ・定期的に排便が あるよう心がけて 下さい ・食事が全くとれない 嘔吐が続く場合は 早めに受診して下さい	
食事	夕食を食べた以降は絶食です () 時までにはできる限り OS-1かボカリスエット1000mlを飲んで下さい 糖尿病がある方はお水で代用します		水分は() 時 から中止です		絶飲食		昼から腸痙より経管栄養が始まります			造影検査確認後、飲水・経口摂取開始となります 濃厚流動食から始まり、食事形態は徐々にUPLします 食事摂取量によって併用で経管栄養をします			徐々に普通食へ 戻していきます		・日常生活上、特に制限 はありません ・食事はゆっくり よく飲んで食べましょう ・定期的に排便が あるよう心がけて 下さい ・食事が全くとれない 嘔吐が続く場合は 早めに受診して下さい				
清潔	手術前日はシャワーに入ります ご自宅でもシャワーか入浴をすませて ご来院下さい		歯磨きをして下さい		手術後は、 人工呼吸器を装着したまま、 ICUで一泊します 口の管が抜け 医師の指示があれば 一般病棟に戻ります		体を拭きます		歯磨きは毎日しましょう 身体に胸の管が入っている場合は体を拭きます		胸の管が抜ければシャワー浴が可能です 傷は優しく泡で洗いましょう (初回は看護師が説明します) 毎日洗うことで治りが早くなり、 傷からの感染の予防になります		シャワー浴は隔日です 入浴は傷からの感染を 防ぐために控えて下さい (初回外来で入浴の確認)			・日常生活上、特に制限 はありません ・食事はゆっくり よく飲んで食べましょう ・定期的に排便が あるよう心がけて 下さい ・食事が全くとれない 嘔吐が続く場合は 早めに受診して下さい			
排泄	制限はありません		トイレをすませて下さい		手術中に尿の管が入ります 翌日、歩行ができれば 抜く予定です		尿の管を抜きます 抜いた後、排尿痛や血尿 があればお知らせ下さい		経管栄養が始まることで 下痢をする場合があります 医師と相談し薬剤の検討をします		規則正しい排便習慣を心がけましょう		・日常生活上、特に制限 はありません ・食事はゆっくり よく飲んで食べましょう ・定期的に排便が あるよう心がけて 下さい ・食事が全くとれない 嘔吐が続く場合は 早めに受診して下さい						
指導	手術後は栄養を補うために 経管栄養が始まります 入院時に管理者の決定をお願いします (管理者:本人・家族) 分からないことや不安なことがあれば 遠慮なく看護師にご相談下さい		手術室に案内します ご家族は手術開始予定の 1時間前には病棟に お越し下さい		痛みは我慢せず お知らせ下さい 点滴の痛み止めがあります 持続の痛み止めが入って いる場合もあります ※要望がある際は 遠慮せずにナースコールを 押して下さい		体を動かすこと(離床)は 術後合併症の予防になります 痛みは鎮痛剤でコントロールし 積極的に離床しましょう 最初は看護師が付き添って歩行します		呼吸器合併症を予防するために 適宜深呼吸を行い 痰は自分で出すようにしましょう		食べたものが胃や食道から逆流しないように 食事後30分は座っておきましょう 食事はゆっくりとよく噛んで飲み込むようにしましょう			緊急連絡先 072-469-3111 平日:8:45～17:00 Bブロック 時間外は救急外来へ 連絡して下さい					
説明	麻酔科医や手術室看護師からの 説明があります 外来で渡された手術や麻酔の同意書に サインをして提出して下さい その他の書類もご提出をお願いします 手術後、ICUに一泊しますので ICUの看護師からの説明があります		手術開始時間は 予定時間より前後します ご了承下さい 指輪・時計・入れ歯・ コンタクト・ヘアピン 湿布類は外して下さい 化粧・マニキュアは 外して下さい 長髪は束ねて下さい		手術後はICUへ行きます 翌日、医師の指示により 一般病棟に戻ります		体を動かすこと(離床)は術後合併症の予防になります 痛みがある場合、痛みのコントロールを行い、離床を行っていきましょう 痛みは日ごとに軽減しますが、痛みが続いたり赤みや腫れが続く場合はご相談下さい 治療に対して不安がある場合は相談して下さい 手術前と比べ、食べ物をつめる場所が小さくなっています 食事量が多かったり、食事摂取が早いと食事摂取後に吐き気や気分が 悪くなることがありますので食事は無理に摂取せず 数回に分けてゆっくりと摂取して下さい		飲水が開始になれば 点滴の痛み止めは終了します 内服薬で痛み止めを用意しています 栄養士より 栄養指導があります (ご家族も同席できます)		平日は午前中の退院と なります 清算・次回受診日について 当日午前中に事務員が 病室へ伺い説明致します 土日、祝日は看護師が 清算・次回受診日について 説明致します				緊急連絡先 072-469-3111 平日:8:45～17:00 Bブロック 時間外は救急外来へ 連絡して下さい				

※上記内容は現時点で考えられるものであり、今後変わり得る場合があります。

※何かある時には遠慮せずにナースコールを押してください※

りんくう総合医療センター 8海病棟 作成：2017.05

改訂：2025.05

説明日: 20 年 月 日 主治医(説明医):

Ⓜ (署名もしくは捺印)

完成後はコピーを1部取り、病棟用ファイルに入れ、原本を患者様にお渡し下さい。

本人/家族等:

続柄: